

335.6-T012-2ウ



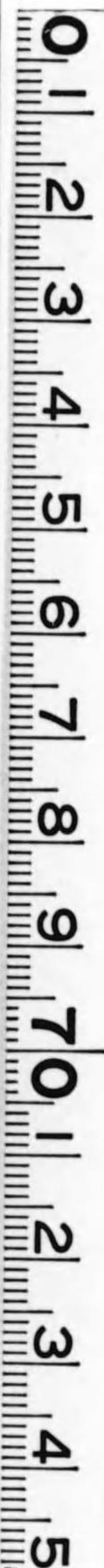
1200500738514

5.6

1012

2⑦

東亞協同組合叢書  
第十一輯  
中國合作社問題座談會  
東亞協同組合協會編



始



923  
159

東亞協同組合叢書第十一輯

中國合作社問題  
談座會

東亞協同組合協會

335.6

T0.12

2

④



東亞協同組合叢書第十一輯

中國合作社問題座談會

東亞協同組合協會



中國合作社問題座談會

目次

はしがき……………(一)

指導陣の肅正に始る……………(二)

  中支合作社建設の當初……………(二)

合作社指導大綱漸く成る……………(四)

  戦火の下遮二無二發足……………(四)

組織運動軌道に乗る……………(六)

  行政院合作事業委員會の成立……………(六)

  合作社が直面する諸問題……………(一〇)

    農業國中國の農民組織……………(一〇)

  東洋本然の思想に還れ……………(一四)

    ユダヤ的謀略を破碎せよ……………(一四)

9 2 4  
1 5 9

國際的中樞機關の確立……………(一七)

  日本の世界觀の滲透へ……………(一七)

  華北合作社運動の沿革……………(二三)

    組織内に於ける日系の地位……………(二三)

  合作社の現勢と其影響力……………(二五)

    主力を農産物の蒐荷へ……………(二五)

  生産技術指導の現狀……………(二八)

    華北農業の特質と其水準……………(二八)

  指導理念の現實的把握……………(三二)

    日本協同組合に望む主導力……………(三二)

  山西合作社の基盤を爲すもの……………(三四)

    經濟的獨立と其の特異性……………(三四)

  事業推進途上の隘路……………(三六)

    蒐荷配給機構から除外……………(三六)

三

山西經濟に於ける合作社……………(四〇)

  重工業を除く一切を把握

金融機構の整備を急げ……………(四二)

  地域別に觀た華北の横顔

傳統を有する地域の強味……………(四三)

  社員組織の相違に就て

青少年運動と合作社……………(四九)

  積極的に進めたい厚生事業

鄉村合作社網の擴充へ……………(五三)

  行政補助機關色の拂拭

  付一 華北合作社統計……………(五)

  付二 中支合作社統計……………(六)

は し が き

中國の農業問題に於ける合作社の地位は極めて重大であつて、特に我國對華新政策の展開以來その使命と意義に就てあらゆる角度から再認識せられつゝある。この事は中國の東洋的農業國としての性格から當然のことと云はねばならぬ。われ／＼は今後とも本問題に對し各方面有識者の一層の研究を望むと共に積極的支持を期待して已まない。

本書は華北合作社の中央機關たる華北合作事業總會局付角玄、同河北省合作社聯合會矢野靖純、中支合作社の指導機關たる國民政府行政院合作事業委員會委員屋井輝一諸氏の來朝を機會に昭和十八年十一月十三日、東京中央農業會館に開催した本會主催座談會の速記大要である。

主催者の準備と時間の不足から充分に其の意を盡せなかつた事はいかにも残念であつたが、中國合作社運動を識る資料に乏しい昨今、中國合作社の直接當事者たる三氏よりその近況を聽くを得たのは蓋し貴重なる價値ありと信ずる。刊行時期の遅延は時局柄已むを得ない事乍ら忸怩たるものがある。

尙文責はすべて編者に在るを付言する。

昭和十九年三月

東亞協同組合協會

## 指導陣の肅正に始る

## 中支合作社建設の當初

清水 「今回華北から角さんと矢野さん、中支から星井さんが來京されましたので、この機會に座談會といふやうな形式で皆様のお話を承りたいと存じまして、本日の會合を催した次第であります。

それでは、初に星井さんにお願ひ致します。」

星井 「四年振りに歸つて参りました、今日は向ふの状況に付きまして從來の報告を申上げ、それから特に今後どういふ工合にやつて行くべきかといふやうなことに付きましても私の考へて居ります所をお話を申上げて、さうして眞剣に一つ今後の大陸に於ける合作社問題といふものに御協力、御援助を戴きたいと思ひます。

私が中支に参りますと本當に積極的にやる方がよいのか悪いのか分らんといふ複雑な情勢であつたのであります。東京に於ても北支には積極的に力を注ぐが、中支には餘り力を注がないといふといふ風が見えたのであります。特にそのためか北支には相當の人が直ちに行かれてどん／＼仕事を

運んだのであります。中支の方は私一人だけ行つた。日本の農業界に於てはやること爲すこと總て思切つてやれるし、またやつてもすぐに効果が現れるのであります。背景も何もない所に一人で行つても全く思ふやうに活動は出來ないのであります。のみならず既に先に行つてゐる者のなかには相當威張るものもゐた。特に滿洲方面から來たやうな人が多いのであります。それ等の人は謂ばゴロツキと云つては過言ですが、なんぼ眞面目に考へやうとしても考へられぬやうな連中で、國策を論じ種々大言壯語をしてゐるが、その經歷を調べて見ると、本當に眞面目にやつて居らない。それ等が政治謀略とか種々やつて居つた。私は其處に飛込んだわけです。その中に段々と眞面目な技術的な連中が來た。所がさういふ連中は左翼であるか右翼であるか、さういふものが現れて來た。一番初に現れて來たのは共產黨の轉向者であつた。後に〇〇事件の時に二三のものは引張られて行つたといふことも聞いて居りますが、さういふ連中が出て來た。私は努力してこれ等の連中を合作社問題にタッチさせないやうに追拂つてしまつたのであります。次に現れたのは右翼のゴロツキであります。これは料理屋に於て酒を飲んで不敵なことばかり言つてゐる。中々理窟は東洋精神に立脚したやうなことを言つてやつてるが、やることはそれと一致しない。斯ういふ連中と一緒にやつては一生の名折れだと感じました。その後遂にこれ等全部を一掃したのであります。それが半

年位かゝつたのであります。」

四

### 合作社指導大綱漸く成る

#### 戦火の下遮二無二發足

星井 「それから昭和十四年の四月でありましたか、南京の參謀部に呼ばれたのであります。特務機關本部に行つたのであります。その時に興亞院が出来まして、軍と興亞院の協定に依つて軍は合作社の指導をする、興亞院は企畫をする。企畫と指導を分けてやる。さういふ一般的な方針の中に合作社運動があつたやうな譯であります。そこで我々は全體に於て二三ヶ月かゝりまして合作社の指導大綱といふものを作つたのであります。興亞院が企畫することになつて居りますから、興亞院の方に尤大な案を持つて行つて研究するといふことになつて、興亞院では偶々坂本技師が赴任をして合作社をやるといふことになつて、我々の意見も十分に聞いて、また凡ゆる方面の意見を聞いて、興亞院の内部に於て合作社委員會を作つて、種々合作社問題に付て考へた。これに付ては共産黨の轉向者みたいの策謀が種々あつたと思ひますが、それがために各方面から意見が出ましたが、到頭その案を押通した。その案は大體初に我々が考へたやうなものが出来た。その案を維新政

府に持つて行つて維新政府に申出やうとした、所が維新政府も南京還都といふことが起つて來るの  
で、維新政府では眞面目に仕事をしなかつた。それがためにその案は維新政府に出したがおつぽら  
かされた。その間行つてから相當の金を費して合作社組織を試験的に行ひ、それに應じて各地に二  
三十ばかり出来たのであります。軍が中心で、我々の案に従つて一應やつたのであります。専門家  
でありませんが、若い者が行つて相當力を有つてゐたのであるから、よし合作社をやつてやらうと  
いふので猛烈な合作社が出来た。一切の物資は合作社を通らなければ入れることも出来ない。出る  
ことも出来ないといふことで、甚しきには小包郵便にも合作社の印がなければ出来ないといふこと  
になつたのであります。さういふやうなことで、中には株式會社的に五割も十割も配當するといふ  
のが出来た。結局税金取の合作社であるといふやうな非難を蒙るやうになつて來た。兎に角百萬圓  
位の金を積立てて、軍としても相當の金を出しても、人も呼んで來いと言つて居つたのであります  
が、その人が病氣になつてしまつて、君等が大いにやれといふことで、資金も相當額を用意してく  
れ、これで基礎を作れといふことになつた。ところが先づ中國側も國民政府から反對がある。日本  
側商社、三井、三菱、それから在華紡方面からも反對が起つた。小さい商人も皆統制してしまつた  
ものでありますから、一枚の許可證で二遍も三遍も使ふといふやうなインチキが出来ないといふや

五

うなことから非常な反対をしたのであります。その非難が皆興亞院の方に集つて来る。興亞院としては、要するにあれ等は素人で専門家でない。従つて専門家を出さなければならん。また金がないからであると言つて、合作社組織のために必要な金を出して呉れたのであります。

### 組織運動軌道に乗る

#### 行政院合作事業委員會の成立

星井 「その結果内地農業界から若手の有能な人を連れて来るといふことで、昭和十二年の二月に約二週間の豫定で歸つて来て、東京、大阪、福岡の三ヶ所で採用試験をやつて、四十名ばかり出来た。人の配置が濟んだのが五月頃であります。この日本からすぐ行つた日本人が合作社の指導などといふことをやるのは極めて大それたことで、そんなことは出来ないであります。従つて先づ諸君は餘り仕事をしなくてもよい。先づ中國を研究しなさい。ぼつ／＼と、民衆が本當に要望してゐる所を少しづつやつてやるのだといふやうな、たゞその代りに悪いことをして呉れるな、色々の連中が悪いことをして非常に信用を落してゐる、合作社の指導員だけは絶対に悪いことをしないで信用を維持して貰ふ、さうすることが長い間には合作社が發展するのだからといふので、道徳を説

き、精神問題を説いて泥棒だけはするな、袖の下を受けるといふやうなことをやつてはいかん、また相當な誘惑があるからといふことで、悪いことをするなといふことで、各地方に出したのであります。中央では大して仕事をしない、見てゐるといふやうなやり方なのであります。それは統制經濟をやつて、軍の力なり興亞院の力を背景にして押してやつたならばどうかといふと、必ず色々の問題が起つて来ますといふ事を考へて、それで各人がその地方に於て出来るだけ努力するといふやうな方針で進んだ。色々勝手なことをやつた譯であります。兎に角民衆のためになる事をやれ。兎に角行つて見ると、一番問題になる事は物資がないことである。或る地域にはあるが、或る地域にはない。日常生活必需品が民間にない。軍特務機關に陳情に来る。その来た奴を合作社にやらせてやらうかといふ事で、先づ蕪湖に於て合作社で米を集めて、米の不足な蘇州なり、杭州とかに配給してやつた。或は外米が上海にある譯であります。その米を各地にやつてやるといふやうな食糧問題を先づ初にやつたのであります。その他日常生活必需品をやつてゐる時には自らさういふ方面にどん／＼進んだのであります。中央で物資の配給を大いにやれといふことは言はなかつたのであります。漠然と大いにやれと言つて居つたのであります。實際の動きは結局物資の配給といふことが一般民衆の一番の要望であつたと見えて、さういふ方向に進んで行つたのであります。社員



八

は昭和十五年度末で二十萬戸になつたので一安心致しましたが、昭和十七年度には約百萬戸に近い社員になつた。百萬戸を作つた時にもう運動資金がなくなつて來たのであります。それで資金を心配しなければならぬ。偶々軍は政治工作から手を引くといふことで、いろいろの方面から集まつた財源がある。これを使ふには合作社がよいだらうといふことで、それを財源として貰ひ、その他大東亞省に於きましても約二十五萬圓の豫算を呉れてゐるといふやうな事になりました。その資金で必要な工作費を出して行くといふことになつて居ります。それで國民政府への移管といふことが既に軍から大使館に移る時に決定して居つた譯であります。その結果昭和十八年七月三十一日を以て日本側でやつて居りました合作社の仕事を國民政府に移管致しました。移管をする時には向ふに實業部のやつて居つた合作社があつたのであります。一般産業の外に米麥とか農業の主體をなすものを握つて居つた。色々のものがあるので、それは一つの部でやるのはいかんといふことで、行政院直轄といふことが宜からうといふことで、合作社は行政院直轄といふことになつたのであります。そうして行政院合作事業委員會が設置されたのであります。社員が百五十萬になり。出資金も積立金を合せれば二、三千萬圓になつて居り、數億圓のものになつてゐるといふ、斯ういふものを握つたならば食物にされてしまふといふやうな點も考へなくてはならぬ。それでは、合作社の

本來の使命が發揮されない、斯ういふ心配を持つたのであります。特に役職員が動搖しまして、もう俺は首を誦られてしまふといふ事で、誦られるならば何處かへ行かなければなんから早く誦つて貰ひたいといふ事で動搖して、色々の施策を南京政府ではやつたが成功しない。全國商業統制總會を作つて、百八十度轉回してやらうとしたら、囤積事件が起つた。五年間もやつてきたものを滅茶滅茶にしたら國民政府の民衆に對する信頼がなくなるといふことで行政院直轄にし、委員長に付ても慎重な考慮を拂つて陳君慧氏が任命され、鐘任壽氏が祕書長になるといふことであつた。鐘任壽氏は中國青少年團副總監をやつて居られる、詰り汪主席の考へは左に青年組織、右に合作社運動をやらして、詰り中央部に於ては人間の頭がまだ近代的でない。動もすればすぐに民衆を擽取するといふやうな役人が多い。さういふことは汪主席は最も好まない。汪主席は絶対に理想主義者で立派な人であります。併しさういふ者でも入れて置かんと政治に困るといふ關係があるのであります。汪主席が絶対に信頼してゐる、例へば新實業部長の陳君慧氏といふやうな、僅かに四十歳になつて居らんであります。さういふ若手の近代的な眞面目にやらうといふのが今の國民政府の内部の事情であります。このやうな眞面目な人々と結合した、さうして新國民運動として合作社が一體となつて展開するといふことになつたのであります。これで我々は初めて安心が出来るのであります。

す。今まで我々の眼に着いた所では悪い役人ばかり眼に着いてゐたのでありますが、まだ眞面目な人があるのだといふことが分つて、本當に茲に革新的な新中國が産れるものであるといふやうな氣持が起り、非常に我々が今後働いて行く上に於て希望を持つてゐるやうな譯であります。そこで行政院合作事業委員會が出来ましたのが十月の十九日でありましたが、第一回の委員會を十一月一日にやりまして、それが終つてこちらにすぐに参つたやうな譯であります。」

### 合作社が直面する諸問題

#### 農業國中國の農民組織

星井 「そこで今後の合作社の問題を考へるに付ての重要な問題をお話を申上げるならば、從來の大陸政策といふものは農業以外の建設には力を入れる、政治的に民族資本をどうするといふやうな色々の手はあるのでありますが、それ等のやり方といふものは必ずしもうまく行かない。特に既に金の時代ではない、物の時代である。物から人といふ時代に於きまして、さういふ政策が、詰り舊時代的な、近代的な日本の財界人のやうな、さういふ性格すらも持たん、古い連中を集めても本當の政治力は出て來ない。さういふことが漸次色々のことをやつて見た結果結論付けられてゐる譯で

あります。これは中國はどうしても農業國である、農民の國である、従つて農本的な社會を建設するといふことが本當の政治の行くべき途である。國家組織を作るに於ても、先づ農民組織をしなければならんといふことが起つて來た。それでその合作社が農民組織として最も必要であるといふことが先づ第一に考へられます。第二の問題としては、農業増産をやつて行く、詰り國民政府は参戦しましたけれども、参戦しただけで兵隊を出す譯には行かん。兵器製造力を持つてゐない。参戦しても何をやるかといふことになる。さうすれば出來るだけ經濟的に東亞全體の國防力を充實するより以外に何もないといふことになる。また實際問題として、あの上海、南京、杭州の三角地帯と言はれる所、それは大陸で最も豊饒な地域であります。此處に於て米なり麥が出來ます、米は軍需米として相當に用ひられて居りますし、小麥は北支方面の食糧に使はれます。もう一つは、揚子江の河の北、蘇北であります。揚子江から北支に亘る所の龐大な地域でありまして、三角地帯の二倍から三倍近くあるのぢやないかと思ひますが、この二つを除いた……恐らく四川省の山の中にも相當の面積があるさうであります。大體に於て東亞のウクライナはこの地域ではないか、さういふ地域でありますから、農業増産を今後積極的にやつて、さういふ點から参戦に協力しやうといふことが考へられる譯であります。第三の問題としては、防共對策であります。今度の戰爭に於て現れた

ことは、長期戦であります。これを三年間やつた結果、長期戦になると、從來のやり方は點と線、重要な地域と交通を把握するといふやうな戦略で行つたのでありますが、今度は面で行く。點と線を面に展開しなければならぬ。これは長期戦の一つの構へになつて來た譯であります。面にすることに依つて、民衆戦を、經濟戦を、思想戦を多面的にやつて行かうといふのが清郷工作であります。所謂總力戦といふことになり、從來國內問題だけでありましたが、日本側としても、共産黨對策を考へねばならず、それは必然ソ聯との問題にも關係してくる。それ等の民衆戦、思想戦、それ等の戦に對しても、日本側としても確固たる一つの手段を持たなければならぬといふことで、これが一つの清郷工作の理由であります。これも行詰つた。武力に依るもの、次は行政機關に依るもの、その次は民衆組織に依るものであります。官治行政は日本軍が龐大な兵力を抜いてしまふとやれなくなる。兵力を抜いてしまふと役人が民衆を搾取するといふことで、民衆組織が出來ると、逆に民衆は離反するといふことで、却つて共産黨にも乗ぜられるといふことになつてゐる譯であります。さういふ結論からしまして、軍が初に計畫した清郷工作といふものは民衆組織を立派に作るのだといふことであつたのでありますが、結局それが出來なかつた所に難點がある。これ等の體験に鑑みて、やはり國民組織といふものを作り、民衆組織といふものを立派に作つて、民衆の自治的の

組織に依らなければ支那は本當の政治は出來ない。特に支那の民衆は役人を信用しない。數千年役人から搾取され苦しめられてゐる。これは民衆をいぢめて金を取るものだといふことで、民衆はお互が協同して自己の生活を擁護する。例へば自衛團といふものを拵へて自ら村を護るといふやうなことをやつてゐる。それ等の自治組織を積極的に展開するといふ以外に本當の民衆組織は出來ない。橋樑氏あたりもさういふ支那に於ける協同體組織の確立を主張をされてゐる。例へばその頃は軍が政治經濟をやつてゐる頃でありましたが、軍がサーベルの力を以て役人が悪いことをしてゐるのを抑へて行くのだといふことを言つて居りましたが、本當の政治の常道をやつて行くといふことが速かに中國の治安を肅正し、國民組織を作り、國民政府の力を擴大強化して行くといふ所以であらうと思ふのであります。さういふやうな關係からしまして、さういふ組織が出來なければ共産黨に逆にやられるといふ事になつて來ますから、防共對策から言つても合作社組織を作るといふことが必要であらうと思ひます。色々の民衆運動が排日抗日になつて居りますが、これを再び排日抗日にしない。またうっかりすると、共産黨が入つて來る。従つて民衆組織を作つて排日ならしめず、本當に東洋的思想に復歸し、東洋的の社會を強力に建設して行くといふことが今後永遠の日支合作、また東亞の建設に重要な問題と思ふのであります。第四に、それ等に對して思想對策が必要であり

ます。思想対策は餘りないと思ひますが、北支の新民會とか、中支では大民會とか、滿洲では協和會とかありますが、必ずしもこれが永遠性を持ち、眞に力強いものかといふと、必ずしもさうは言へないと思ひます。従つて本當に足を地に付けた組織でなければならん。その中に思想が入つて来る、現實と精神とを把握するといふ物心兩面を統一的に把握出来る組織が必要である。それは合作社以外にはないのぢやないか。さういふ點から致しまして今後の思想問題をやつて行くといふ上に於て合作社といふものが一番中心になつて来るのぢやないかと思ひます。」

### 東洋本然の思想に還れ

ユダヤ的謀略を破砕せよ

星井 「統制經濟の問題、全體主義の問題、種々ありますが、日本に於ても種々やられて來た譯であります。現地に於ける共產黨の組織にしても、民主主義といふか、民主主義に接近したやうな理論で以てやつて居ります。例へば地主でも從來は土地を沒收してしまふといふことをやつて居つたのでありますが、さうでなくして、小作料を負けさせるとか、種々の妥協をやつてゐる。而も今度民主主義の方から見ても一つの統制經濟といふ方に移ります。でありますから完全なる共產黨

と、民主主義の幅に於て、統制經濟とかは、唯單なるそれ自體のもので行きますならば、共產黨と民主黨と何等差異がないといふ様に接近して來た。でありますから色々の歐米的の勢力に依つて統制經濟主義といふやうなものが起つて來て、さういふ教育を受けてゐるからさうなる。従つて共產黨の謀略になる。それはソ聯謀略、或は英米謀略、たゞ資源、資源で物だけ取らうとなると物質主義に流れる。さういふ物質主義で行つたならば自ら其處に英米的なさういふ謀略が入つて來るといふことで、譯が分らんことになる。非常に混沌とし、色々の謀略が入る隙が多い。さういふ謀略を入らしめない。本當に永遠的な社會を作つて行くのには、やはり東洋本來の思想に復歸して行かなければならんと思ふのであります。私が五年間上海に居つたことは何かといふと一つの思想問題を研究するためであつたと言つても過言でない。詰り民主主義はいかん、自由主義はいかん、共產主義はいかん、統制經濟だ、これでも満足出來ないといふことで中國に行つたのであります。さうして行つて見ますと種々の謀略が起つて來る。それ等の謀略に付てゆつくり何時かお話をしたいと思ひますが、それ等の謀略といふものは結局煎じ詰めて行くならば、これはユダヤといふやうなことも言はれて居りますが、一方に於てそれは共產黨的な謀略であり、一方に於ては資本を中心としての英米的の謀略である。それ等が内部的な聯關を以てやつて來る。最近の彼等の謀略は表面には現れ

ない。これは日本の國內にもそれ等の謀略が現れて来る。昔の微毒はおできが出来るが、今の微毒は血液検査をしなければ分らんといふやうに變つて来る。私共は初はおできの出来るやうな謀略を見、その後變質して行くのを見てゐる。従つて滿洲北支はよいだらうが、中支は初から謀略が盛んで、中支拋棄論といふやうなものが出来て支那と和平する。さうして英米と戦争しない方がよいといふやうなことが初に言はれた。それ等も一つの謀略であらうと思ひますが、さういふ謀略の過程を見て、これ等の謀略にかからんはつきりした中心を持ち、これに對抗するやり方を持つて行かなければならん。もう一度はつきり唯物史觀をやめる。ユダヤは彼等自身は神を持つて居つても、一般のものには無神論で行く。極めて巧妙な方法で行つてゐる。それ等の祕密を解き、それ等の謀略にかからんやうにして行くといふ、それがためにはもう一遍……動もすると産業組合の關係者は思想問題を少しも研究して居らん、哲學的問題を研究して居らん、たゞ自分達の經驗だけ、特に經濟的面だけしか見ないといふことで行つたならば、必ずソ聯謀略なり、民主主義的の謀略に引かゝること必然であります。従つてそれ等のものに誤魔化されないやうに、また本當の東亞を建設し、御稜威を世界に布くためには本當に哲學問題を研究する。これはもう一遍東洋的の基礎に於て思想問題を考へなほして、さうして其處から力強い、一つの總てのものの考へ方なり、やつて行き方を再建

設するといふことが必要ではないかと思ひます。中國の思想は、從來民主主義とマルクス主義との混血兒みたいな思想に於て三民主義が形成されて居つた。孫文先生は決して歐米主義を謳歌して居つたのではない。詰り中國にないものを出さうとして居つたのであります、三民主義についてはマルクス主義の解説者と民主主義の解説者とありますが、現代の汪主席は東洋的なものになつて居ります。汪主席が日本に三十年前に留學された時に、王陽明と禪といふ本を翻譯されて居ります。あの孫文先生の革命運動の當時に於ては、口に孔孟を唱へ、自ら軍閥王者たらんとする覇道に陥る。この覇道に陥ることを撲滅するために、從來の思想をやめてしまへといふことが起つたのであります。今は新思想を把握しろといふことになつてゐるのであります。これは汪主席の新聞記者に對する談話の中にはつきり現れて居ります。本當に東洋的な新しい思想に立脚して行くといふことになつて居りますが、漸く茲に種々の意味に於て中國は本當に軌道に乗つて行くといふやうなことになつて來てゐると思ひます。」

### 國際的中樞機關の確立

日本的世界觀の滲透へ

星井 「最後に言ひますことは、日本には世界政策がなかつた。ソ聯には國際共產黨の政策があり、英米には數百年に亘る植民政策があつたが、日本は行當りでやつて來た。これからは日本自體の世界政策を持たなければならん。その場合に防共對策として、或は一國を速かに建設するといふ場合に於て、如何なる方法があるかと言つた場合には、どうしても私は共產黨に對抗し、速かに國家組織を確立するために、これは一般に發表するなり、直ちに宣言するといふことはどうかと思ひますが、兎に角心の底にさういふことを考へる。中國に於て言ふならば、ソ聯の共産大學を卒業した奴が澤山ある。それが逆にならなければならん。日本に來て學んだものが御稜威を戴いて、世界の平和を建設して行く。國を造りたいものは國を造らしたらよい。總て彼等の欲するものを與へる。たゞ世界を破壊するものは衝いて行く。左するものは左せよ。右するものは右せよ。天の命に従つて行くべしといふ、あの大きなことであります、私は最後に言ふことは、日本で世界を知らずに、謀略の中に居つたものとしては日本の思想は餘りに小さい。我々は五年間居つてそれが分つた。やはり現地に入つて行かなければならんと思ひます。それ等が何物であるかといふことを把握してやらないと大いに間違が起る。あれはよいことを言つてからと言つて排斥されてしまふ。これは一つの矛盾したやり方のやうであります。支那のやり方を、例へば汪主席は南京に居つて戦

はず、蒋介石は戦ふ。さうして支那民族は本質的には戦といふ點に於て彼等の生命を保持するため戦ふ、戦ふことは戦はざることであり、大いに戦ふことであると言つて、これは老子の思想であります。マルクスの二律背反の、一切のものを誤魔化して行く、一切の誤魔化しの方法であります。日本では單純であるから、突撃といふことでやつて行つてはいかん。それかと言つて、ユダヤのやうなインチキではいけないが、正々堂々、みんな呼んでこちらに隨いて來るやうになつて來なければならんと思ひます。

私が今度の東亞協同組合協會の會議に出た感想は、これは國內會議で、本當の國際會議ではない。もつと國際會議のやうな風に、日本は日本で一つの、内地も外地も合はしたやうな中央機關を作り、滿洲は滿洲で作れ、中國は中國で作れ、ビルマにも印度にも出來ませう。それ等の代表として集るといふやうな、さういふやうな協同組合の統一的な組織が必要ではないか。さうでないとか何か雜然としてゐるやうな感じだ。此の線に添つて東亞協同組合協會を強化しなければならぬと考へます。今後の合作社の問題は極めて重要である。これ以外にないと思ふのでありまして、さういふ點から皆さんと協力して、東亞的な合作社運動といふものをこれから考へて行かなければならんと思ひます。以上報告並に希望を申上げた次第であります」

(編者註) 昭和十八年十一月十六日大陸新報は合作社の活動方針と題して中支合作社の近況について左の如き記事を掲げた。

轉換期に當面する中支合作社運動の新方針確立については、國民政府に設置された合作事業委員會においてその具體化を急ぎつゝある模様であるが、新方針においては商業統制總會確立後の上海並びに各地方の土着商業資本との對立摩擦は努めてこれを避け、現段階における中支合作社としては

一、合作社思想の普及による農村治安の確保

二、農業生産用諸資材の配給、農業技術改良等による増産運動の展開等々

に重點を置き、新なる合作運動が展開されやうとしてゐる。もちろん合作社においても生活必需品の農村への配給、特殊農産品例へば苧麻その他の苧荷、生産用資材、生活必需品等の配給に對する見返りとしての農産品の苧荷等々も實行するが、主力はあくまで増産面に對して注ぎ、一般工業生産品及び農業生産品の配給又は苧荷に關し、商業統制總會下部機構との對立を生ずるが如き方針は可及的にこれを避ける方向に向つてゐる

日本側中支農業助成會でも、かゝる合作社の運営方針に對して全面的協力を惜しまないものと豫

想されて居り、糧食部指導による主要農産品増産運動の全國的展開が行はれつゝある際、合作社の活潑にして效果的な新活動に大なる期待が寄せられてゐる。

中央の方針は大體右の通りであるが、奥地合作社の活動狀況について、中國合作社常務理事長浦治一氏の管下合作社最近の事業狀況についての次の談話によつても明かな通り、奥地合作社活動の重點が生産増強の方向へ強く集中されつゝあることを物語つてゐる。

合作社の事業の中心は農業の改進であるべきである。この目的のための手段として従來一部物資の配給を行つて來たが、本年上半期においては砂糖、煙草を除くの外、殆ど合作社にする配給は停滯状態にある、この點は頗る憂慮に價する、何故なら一般社員の入社の動機は「闇で物資を買へば非常に高いから、合作社に加入して安い品を買ひたい」との希望によるものである。急激に配給が停滯するときは合作社員に對し深刻な動搖を與へる危険がある、従つて一方において農民の生必需品の配給を繼續すると同時に、他方農民にとつて眞に利益のある生産指導が強力に實施される事が必要である、こゝで全縣的生產増強運動が全面化されることになつて來る、當縣における本年上半期の主なる合作事業を擧げると次の通りである。

一、糧食部及び縣建設科との協力の下に中堅農民訓練班を開催し縣下中堅農民約百名を集め農事

改良指導を実施した。

二、府下各地で稲の坪刈を実施した。

三、華中棉産改進黨と連絡し、縣下棉産地帯に農事實行組合的性格を持つ生産互助社を結成したがその他の米産地帯にも漸次互助社を結成し農事改良運動の徹底を期する方針である。

四、最も重大な事業として揚水路たる洋龍船三百隻のうち百五十隻の改装を指導したことである。即ち従前は重油によつてゐたのであるが、その入手困難から木炭機に改装したわけである。

五、耕牛二十六頭を支社で購入しこれを農民に給したが、農民は六ヶ月間に農産物の販賣により全額支拂つた。

六、百六十頭の綿羊の配給を実施現在縣下に約四百頭普及してゐる。

七、本年は蝗虫の被害が特に甚しかつたので病稻八十萬本を抜きあつめた。

右は奥地における合作社の生産増強運動の一例であるが、かゝる運動が今後より強力に指導されるに必要とされる資材の充分なる配給、指導員の計畫的配置が行はれるならば中支合作社が生産合作社として偉大なる發展を行ふものと期待されてゐる。

清水 「只今星井さんから五ヶ年間の御經驗、また御抱負を伺つて有難うございました。我々の

協會の方のことに付ても色々激勵を受けた次第であります。一々膽に銘する次第であります。

次に華北の角さんにお願ひ致します。」

### 華北合作社運動の沿革

組織内に於ける日系の地位

角 「星井君と違つて私は北支に参りまして二年しか経ちませんので、星井君のやうに事變後直ちに行かれた方のやうに、事變當初からの事情に付てよく存じて居りませんので、詳しいことを申上げることが出来ないのを残念に思ひますが、本席には事變後北支の農業政策に付て擔當されて居りました農商省の井上君が列席されて居りますので、その點は後に井上君から補足して貰ひたいと思ひますが、大體私の聞きました所に依りますと、北支の合作社は最初軍の宣撫的の意味に於て出来て来た。所謂民衆からの希望に依つて出来たのぢやなくして、軍の一つの宣撫的の意味から發達して来たといふことを聞かされてゐるのであります。大體何時頃からさういふ風な合作社組織といふものが考へられて来たかといふと、昭和十四年頃からさういふ風な計畫が實行に移されて来たやうであります。さうして各縣に合作社聯合會といふやうなものが出来て来たのであります。その合



作社聯合會を軍が使ひまして色々の物資を流し、その他色々の施策を講じて軍の宣撫行動をやらしたやうな事情であるやうに聞かされてゐるのであります。大體さういふ風の恰好で仕事を始めて行きました。昭和十六年頃になりまして、その縣聯だけでは不十分だといふので、縣聯を本とした省合作社聯合會といふものが出来て來たのであります。省合作社聯合會が昭和十六年頃に出來上りまして、段々中央にも一つの機關が出来るといふ風なことから致しまして、昭和十六年の十二月十六日に華北合作事業總會といふものが設立されたのであります。さうして華北合作事業總會は斯ういふ風なことから出来上つて参りました、それが出来てから私達は入り込んで行つたやうな事情であるのであります。さういふ風な経過を以て華北の合作社が進んだのであります、その合作社に付て日本人はどういふ風な立場に立つてやつてゐるかと思はれます、最初縣聯、省聯が出来ます當時は、新民會といふ日本の大政翼賛會のやうな團體でありまして、その新民會の職員が兼務致しまして、さうして合作社の責任者になつて居つたのであります。華北合作事業總會が出来てから、新民會から華北合作社が獨立致しまして、獨立の、華北合作事業總會の任命した日本人が責任者となつてやつて來たのであります。従つて縣聯の常務理事とか、或は省聯の常務理事とか、また省聯の責任のあるポストには事業總會の任命した日本人が入つて居つてやつたのであります。それが今年の

御承知のやうな對支政策の轉換に依つて總て責任者から離れる。斯ういふことになりました、中國人の間から、日本人は顧問といふ名目を以ちまして、好意的な支援をして合作事業に應援するといふことになつたりであります。さういふ風な経過をもつて來てゐるのであります、大體の現状はどういふ風であるかといふことを御参考までに一應申上げてみたいと思ひます。」

### 合作社現勢と其影響力

主力を農産物の蒐荷へ

角 「華北は、河北省、山西省、河南省の黄河の以北の半分だけ華北の方に入つてゐるのであります。此處にありますのが蘇淮地區と申しまして、(地圖を指す)江蘇省の北部と安徽省の北部を一區劃にしまして、蘇淮地區を作つて居ります。その北に山東省といふ大きな省がありまして、五省といふものがあるのであります。合作社の方で言ひますと、青島に省と同格のものがあるのであります、省聯としては六省聯あるやうなことになつてゐるのであります。さうしてその省聯はその省に於きましては各々省合作社聯合會といふものがあるのであります、その省合作社聯合會が大體道を區劃にして辦事處といふものを出してゐるのであります。これは日本で言ひますと支所に當

るやうなものを大體道毎に一ヶ所づつ辦事處として持つてゐるのであります。さうしてその省聯の下に縣聯といふものがあるのでありますが、その縣聯は、大體現在に於きまして二百九十九、三百縣聯があるといふことになつて居ります。縣數はどれだけあるかと申しますと、三百九十三、大體四百といふことになつて居りまして、その四百の中三百の縣聯が設置されてゐる。斯ういふことになつてゐるのであります。さうして三百の縣聯が全部動いてゐるかといふ問題であります。大體動いてゐる譯であります。特に日本人の入つてゐる、所謂顧問の居ります縣聯は、これは合作社聯合會として相當な働きを致してゐるのであります。その點から見ますと、日本人顧問が入つて居ります縣聯の數が、三百の中二百七十三あるのであります。それでありまして、日本人顧問が入つて居る中、二百七十三縣だけは縣合作社聯合會としての機能を發揮してゐるといふ風に御承知を願つてよいと思ふのであります。その三百の縣合作社聯合會の内容であります。先づ社員數が一應内容を決するものであらうと思ひますが、その社員數が五百十一萬戸、五百萬人といふことになつてゐるのであります。北支には農家がどれだけあるかといふと、統計では千六百萬といふことになつて居りますから、約三分の一が合作社の社員といふことになつて居るのであります。新政權側の方に所屬してゐる人口の大部分は大體合作社の社員だといふ風に考へてよからうと思ふ。その次

に出資金であります。三百の縣聯で二千四百萬圓となつて居ります。その二千四百萬圓の中拂込の濟んだ金額は二千百萬圓、斯ういふことになつてゐるのであります。さういふ風に現在の狀況に於きましては合作社の支所といふものは大體全華北に配置されて居りまして、相當の規模を一應持つてゐるといふことが言へるのであります。この事業の狀況について概念的に申し上げますと、最初軍の宣撫班の一つの働きとして合作社を作つて行つたといふ經過から見まして、最初は品物を配給する。所謂内地で言ひます所の購買事業をやつて居つたと思ふのであります。併し段々購買事業をやりますに付ても品物がなくなつて來た。結局購買事業だけやつて居つたのでは合作社の經營が困難である。それで結局合作社として仕事を手廣く始めて行かなければならぬ。それには結局日本の産業組合に見ます販賣事業に集中して來る。收買工作に入り込んで來る。斯ういふ經過を辿つてゐるのであります。この販賣事業、所謂米、雜穀の收買事業に合作社が手を出すことに付ては、農民を合作に惹付けるには非常に不利である。收買工作は内地でもさうであります。或る程度強制的の力を以て集めなければ到底集らない事業でありますから、さういふ風な強制的なことをやつて集めるといふことは合作社工作に付ては不利であるといふことが各方面から言はれてゐるのであります。さういふことが十分考へられてはゐるのであります。事情はやはり收買工作に合作社がタ

ツチして行くといふ傾向になつて居りまして、これは中々合作社工作には不利であるからと言つて防ぎ止めることは出来ないやうな情勢になつてゐるのであります。合作社工作の進む一つの社會的の必然性と申しますか、さういふことになつて居りまして、現在では收買工作に大童になつて進んでゐるやうな状態であるのであります。併しそれは色々の方面から言はれますやうに、合作社工作には直ちに不利であるのでありますから、これに對して農民を惹付ける一つの方策を合作社としては考へて行かなければならぬといふことは非常に考へられてゐるのであります。」

### 生産技術指導の現状

#### 華北農業の特質と其水準

角 「それは何から農民を惹付けることを合作社として考へなければならぬかといふことになるのであります。最初軍の宣撫工作として始めやうとしたやうに物を與へることが十分出来る。所謂物の確保が十分に出来ますれば、これは申分のない仕事であるのであります。合作社を運行さして行くのには持つて來いのことではありますが、これに付ては物といふものが中々困難であります。それでは何かといふと、それは今我々の方で考へてやつて居りますのは、日本の農業技術といふものを農

家に教へて行かう。農業技術指導といふものを農家に與へやうといふ、内地で言ひます所の農會のやうな仕事に入つて行つてゐるのであります。去年は幸に食糧増産といふやうな大きな問題が起りましたので、華北に於きましても二千萬圓の豫算が取れました、さうしてそれを一括して合作社に依つてやるといふ風なことになります、合作社に依つて農業の生産技術指導に行つてゐるやうな状態であるのであります、それで今後の行き方と致しましては、販賣事業といふものは、合作社の經營をやつて行く上の生命線でありますから、これは下げることは出来ない、その販賣事業に行きますと共に農會の仕事、所謂農業の生産、技術指導の仕事を更に附加して、農家を合作社に惹付ける一つの仕事として進んで行く。斯ういふ風の關係になつてゐるのぢやないかと思ひます。さうして一ヶ年間にさういふ風のことであつたのであります、この農業の技術を農民に教へ込むといふことに付きましては、農家に十分にそれを植付けるだけの準備、農家にそれだけの知識水準といふものがなくてはならないといふことが一應考へられるのであります、それと共に華北に適當する所の農業技術といふものが十分あるかどうかといふことが一應考へられて來るのであります。現在華北に於きましては、華北農事試験場がありまして、非常な大規模な設備をして、仕事を進めて來てゐるのであります、この試験場に於て出來上つた技術を合作社が吸収して農民に浸透さすといふことが一應考

三〇  
へられるのであります。従つて、それは一つの大きな仕事として進んで行かなければならないのでありますが、併し日本の技術者が行きまして、さういふ風な華北農事試験場で築上げました生産技術といふものも一定の限界といふものがありまして、急にそれがどう斯うなるといふ譯には行かないのであります。昨年からやつて居ります農業生産指導と言へば、どんなことをやつてるかといふことに付てお考へがあらうと思ひますが、昨年やりました農業の生産指導といふものは先づ第一に井戸を掘つて行く。北支は水が非常に少い所でありまして、その水を供給するための井戸を掘つて行くといふことが一番大きな目標になつて居つたのであります。さうしてその他に農業薬劑を配給する、或は硫安を配給する。斯ういふ風なものが附隨的に行はれて來たやうな状態であるのであります。従つてその井戸を掘ることが主體であるのであります。この井戸を掘るといふやうなものは別にこれと言つて技術がある譯ではなくして、努力が十分あれば井戸は掘れるといふやうな状態でありまして、特にこれをたゞ目標にして行くだけでは、合作社が教へて呉れたのであるから、却々合作社は有難いといふやうな所にまで行かないやうに思はれる節があるのであります。井戸を掘れば競面に農業生産には利くのであります。水があれば倍の生産があるといふことは確かな事實でありまして、それは一應言はれますが、その掘り方をどうするかといふやうな點に付ては別にこ

れと言つて技術を合作社が教へ込むといふことではないのでありますから、合作社に依つて非常な恩恵を受けたといふことはない。また硫安とか、農業薬劑とかに付ても、北支に於ては十分その効果に於ては認識されて居らない。硫安は配つたが、それが實際にやられるかといふことに付てはまだ疑問がある。また農業薬劑に付きましても、この使用に付ては十分百姓まで徹底したといふ所にはまだ立至つてゐないのであります。具體的に申しますと、さういふ風なことを實は今やつてるやうな段階でありまして、合作社が農業生産指導をやる、これで農民に結付けるといふやうにいさなり考へることは餘り早合點な方法ではないかといふやうに現在では考へてゐるのであります。併し方法と致しましては、現在華北に於て合作社の仕事をやつて、さうしてそれが農民に結付きますためには、やはり農業生産の技術を教へて行くといふこと以外にはちよつと手が無いではなからうかと考へてゐるのであります。」

### 指導理念の現實的把握

日本協同組合に望む主導力

角 「更に今後華北の合作社に付きまして考へますことは、昨日も會議で御意見が出ましたやう

に、東亞の協同組合の指導理念といふものを作らなければならぬといふ風の提出問題があつたのであります。その前の日に千石興太郎さんから東亞の協同組合の指導理念といふものは大東亞戦争を完遂することである。斯ういふ風に御發言になつたのでありまして、實にこの言葉は簡單明瞭に東亞の協同組合の指導方針といふものを言現はした言葉であると思ふのであります。大東亞戦争を完遂することが東亞の協同組合の指導理念であるといふことになりますと、結局東亞の協同組合の指導理念は、日本が指導的の國家になつて、東亞の各民族を自主的に獨立さす、各民族に相當した國家を自主的に作らして行くといふことにならうと思ひます。従つて東亞の協同組合もそれ／＼各民族の自主的の働きに依つて仕事を運営さして、今後の發展をやらして、さうしてそれを日本が指導的の意味に於て掴む斯ういふことが必要であらうと思ひます。それ／＼各國の合作社といふものが生成發展して行つて、それを日本が指導的の意義に於て掴む。これが東亞の協同組合の指導理念でありますならば、それを具體的に我々合作社運動をやつてゐるものは實行に移して行かなければならぬと思ふのであります。それを具體的に實行に移すにはどうしたらよいかといふ問題になるのであります。これは昨年も、現在は全國農業經濟會理事の吉田正さんが北京に参りまして、色々示唆に富んだことを我々にお話戴いたのでありますか、それは各國の協同組合がある。所謂日本の産業

組合が主體になつて、ちよつと言葉が先に行つたのであります。要するに物が現在には非常に不自由なのであるから、その物を作るといふことを考へなければならぬ。その物を作る所の生産事業といふものを、日本の産業組合といふものが主導となつて、作り上げて、それに各國の協同組合が資金を出して更に規模を擴大して、物の生産の擴充を圖つて、さうして、その物を合作社の組織を通じて農民に配布して行く、斯ういふことを考へなければいけない。斯ういふことを吉田理事が言はれたのであります。結局今後の東亞協同組合の指導理念が、日本が音頭を取つて、さうして各國の農家に依つて出來上つた協同組合をそれ／＼獨立的に仕事をやらして行き、さうしてそれを日本が掴んで行くといふことのためには、實際的な、實行的な部門としては、この吉田理事の言はれた二つの構想が實現されれば、この東亞の協同組合の指導的理念といふものも實行に移されるのぢやないかと考へるのであります。それには華北の合作社の立場から考へて見ますといふと、實際に今農家に切實に要求されてゐる物といふことになりますと、その供給力は至つて貧弱なものであるのであります。主としてそれは經濟的な品物に限られる。生産的な物品は切實な要求がない。例へば硫酸にしても、或は農業藥劑にしても、その他生産的な、所謂内地の農家が考へるやうな生産的なものは餘り要求がない。結局生活必需品のやうなものが切實に要求されて來てゐるのでありまして、

この點内地の産業組合が音頭を取つて、さうして事業的に我々の方の合作社を一緒に行くといふ點に於て困難な點があらうと思ひます。従つて先程申し上げましたやうに、生産技術指導を大いにやつて、支那の農家がさういふ風に品物を喜んで使ふやうにしなければならん。さうして切實に要求するやうな事態を一日も早く起さすといふことが一つの方法であらうと思ふのであります。

それからまた生活用品等に付きましては、これは一つ吉田理事の言はれるやうな、日本の産業組合が音頭を取られて、大いに生産設備に對して投資されて、さうしてその恩典を各國の合作社に分け合ふといふやうな方向に進んで貰へば、この生活必需品の點に付ては御協力出来るやうな點があらうと思ふのであります。たゞ感じました點を最後に申し上げたのでありますが、大體最近に於きます華北の合作社の問題に付て御説明申上げたのであります。尙ほ本日はこちらの山西省で長らく合作社の仕事をやつて居られました矢野君が幸ひ御上京になつて居りますので、更に詳しい所は矢野君よりお話をして戴きまして、補足して載ければ結構と思ひます。」

### 山西合作社の基盤をなすもの

#### 經濟的獨立とその特異性

清水 「角さんから大變結構なお話を承りまして有難うございました。矢野さんがお見えになつて居りますが、山西省の合作社運動は特に活潑であるといふやうに承つて居りますので、山西省の合作社の實際の動きをお願ひを致したいと存じます。」

矢野 「私が擔當して居りました山西省の合作社のことに付きまして若干申し上げたいと思ひます。私が北支に参りましたのは十六年の四月の末でありまして、丁度北支から内地朝鮮より二十名合作社の指導に招聘されました、その一行に加つたものでありますが、北支の合作社の状態に付きましては、大體角さんから詳しくお話がありまして申上げる必要はないと思ひますが、特に山西省の行き方が若干中央の指導があるに拘らず異色ある行き方をしてゐるといふことに付きまして、聊か申上げてみたいと思ひます。」

大體山西省自體が、若干北支に於きましても、政治經濟その他軍の行はれます色々なことに付きまして、山西は別天地だ、そして色々な意味に於てよくも悪くも言はれて來て居つたのであります。従つて合作社も亦中央からは絶えずお叱りを受け、また中央の命令にも服さなかつた、反撥してやつて來たといふやうな點もありまして、甚だ申譯ないのであります。これは情勢が已むを得ず其處へ追込んだといふ風に御諒解を願ひたいのであります。山西は御承知のやうに、面積は稍々

朝鮮に匹敵します。一部を蒙疆の方に取られて居りまして、その分は狭くなつて居りますが、精々同じ位であります。それから地圖で見てもお分りのやうに、山嶽地帯で極めて耕地は狭いのであります。併し飛行機の上から見ましても、山の頂天まで殆ど耕される所は耕し盡してゐる。従つて割合に農業方面に付きましても、或る程度の作物が得られる。それから地下資源が非常に豊富であります。これは北支の他の省の到底及ばない所であります。世界産額の七割は中國である。中國の七割はまだ北支にあるやうな譯でありまして、その大部分が山西省から出るやうな譯であります。従つて石炭、鐵も相當のものがあります。閻錫山は御承知のやうに、山西モンロー主義を唱へ、山西省十ヶ年計畫を立て、一應それ等の事業を進めて居つたのであります。省内に現在では北支開發の子會社であります山西産業株式會社といふものがありまして、その傘下に、閻錫山の紙廠、煙草廠、綿布廠、紡績廠、マツチ廠、斯ういふものを集めまして、殆ど輕工業、重工業の小規模ながら山西省の自活が出来るといふやうなことをして居つたのであります。一部は既に緒に就き、一部はこれからやうといふ計畫があつたのであります。皇軍入城以來盛んに開發致しまして、現在は非常に大きな事業になつてゐるのであります。それからまた天然資源に恵まれて居ります點では、黄河からは、かなり距離がありますが、運城に鹽池といふのがある。水が溜つて居つて、その水が鹽

水である。これを鹽田に汲上げまして、天日で以て鹽を造つてゐる。但しこの鹽は華北政務委員會直屬の事業になつて居りまして、山西省で勝手にやることは出来ませんが、斯ういふ風に地下資源輕工業材料、さういふものに付て一應山西省が自給自足が或る程度出来るといふやうな、自然の状況に恵まれてゐる。これは河北省に較べまして特に山西省が違つてゐる所であります。山西省は事變前は井陘炭鑛の食糧は供給して居つた。兎に角省で省民を養つて尙ほ且つ他の省民の食糧を供給して居つたといふ状況であります。従つて合作社をやりますには比較的それ等の諸條件が備つてゐる。また今日統制經濟を行ひます上に於きましても、他省から物資の供給を受けなくても、先づ省内で或る程度の生産が出来るといふやうな環境なのであります。さういふ状態でありまして、先づ山西省の合作社を見ます場合に、他所の省は、例へば河北省を申し上げますと、同じ省の中に北京、天津と言つたべら棒に大きな市があります。或はまた山東省に於きましても、濟南の方に青島といふやうな、これは經濟の條件に付きましても、さういふ風の條件から見ましても、中々纏めてやるといふことが極めて困難でありまして、特に支那人の國民性から行きましても、自分だけはよいやうにしても、他人のことまで考へないといふやうな、極めて個人主義的な、而も物慾に汲々としてゐる國民を相手に協同的な合作社を進めて行くといふことは極めて民心を把握して行く上から

見ますと難しいのであります。」

三八

### 事業推進途上の隘路

#### 菟荷配給機構から除外

矢野 「山西省内の縣は七十一縣でありまして、七十一縣は全部省の聯合會が出来て居ります。最初は、山東地區の如く模範的な地區だけは、省聯のやり方に屬するといふやうなことでなくして、省民である限り、合作社員である。縣民である限り合作社員であるといふやうな全體的な方法を取つて、兎に角治安維持會といふものが出来、兎に角縣と名の付く限り縣聯を強制的に省聯の傘下に入れるといふ立前を作つたのであります。私共が行つた七月二十一日に省聯の結成をやり、八月一日から事業を開始したといふやうな状況であります。その以前新民會が物資配給所を持つて居りました、そこで角さんが言はれたやうに、宣撫工作的の物資の配給をやつて居つた。これが種々各方面の援助を得て折衝を致しました時には約四十萬圓で事業を始めました。省全體纏つたやり方ではなかつたのであります。過渡的にどうしても致し方ない情勢でありましたので、さういふ風になつて居つたのであります。事務的に専ら經營されて居つたのであります。併しながら四十

萬圓の財産の大部分は購買品でありまして、これの配給には手数料、損益金といふやうなものを省全體がやらなければならぬ。これは當時指導要領にも示されて居りますやうに、販賣購買は斡旋に止むといふことでありまして、それをやりつゝ農業合作社としての性格を農業に現して行かうといふやうな事になつて、一方購買を伴つて、商賣をやりながら百姓の方を進めて行かうといふやうなやり方をやつて居りますことは、如何にも奇怪に見えるのであります。自分達自身も感じて居つたのであります。茲に一つ合作社發展の非常に大きな障害となつたものに幾つかのものがあつた。此の場合詳述は避けて置きます。ある特殊組織がありましてこれに省外對の貿易に對して、これに行はしめるといふことで、また省外から入る民需物資に對しては、物資輸入機關を別に作つて、合作社をやらせない。斯ういふ行き方をやつたのであります。従つて山西産業傘下の種々の工場で出来す綿布にしても、煙草にしても、合作社省聯は使はん。直接縣に流すといふことで、大分抗議を申込みまして、辛じて色々責任者の交替と同時に、稍々合作社省聯の方の事業に好意を持つて呉れ、或はまた全然無理解の人は諒解して貰ひ、大分好轉して行つたのであります。」

三九



## 山西經濟に於ける合作社

### 重工業を除く一切を把握

矢野 「それで省聯もそれに即應して一元的に統制するといふやうな中央集權を強化致しまして、分所を作り、地區聯合會をみんな代理所みたいの辦事處に變更してしまつたのであります。さうして八十人ばかり居つた人間を一舉に二百五十三名に致しまして、中央でやるやうになつたのであります。段々角さんか仰しやいました農業方面の技術を指導するといふことに付きましては他から資金を貰ひ、工作をやつてゐるのであります。特に此處で申上げなければならんことは指導理念の明確でないといふことでもあります。これは中支の星井さんからも種々お話がありました。特に華北に於きましては、新民會も、政務委員會の方も、事業總會の方の合作社も、各々反對の方を向いて居つた。これ即ち華北の建設の方向が不明確であり、また同時に全支那に通ずることと思ひますが、山西省に於ては省民即合作社員であると同時に新民會員である。従つて皆三位一體の氣持で一つの方向に行かうといふことになつた。併し中々この理解が各方面の人に諒解出來ずに當局の方が責任者を集めて屢々講習會をやり、また出掛けて行つて合作社運動を指導したのであります。これ

が現地の各機關にも徹底致しましたが、その期間が少くとも半年以上かかりました。今年の四月以降食糧の蒐集を行ひますに至つて初めてその理念が殆ど間違なく實踐化されるに至りまして、華北全省に於きましては、食糧の蒐集に付きまして、合作社の力は微力である。合作社のみに蒐荷を依存しても到底集らないから糧棧機構をしてこれをやらせる。詰り採運社といふものを作りまして、この二本建で進まふといふ方法を採つたのであります。山西省では採運社の必要なし、全部合作社がやるのだといふ風に致しまして、〇萬トンの雜穀、小麥は全部合作社がやることになつたのであります。その金額は大體〇圓であります。これに對して各機關、各工場で出來ます品物は〇圓であるのであります。その他綿は非常に少いのであります。繰綿にして〇ピクルの生産であります。これを全部合作社が取引をするといふことで、これは約〇萬圓であります。それから輕工業品も全部合作社が扱ふことになりました。皮革、羊毛、藥物、さういふものを合作社が扱ふことになつたのであります。それから更に葉煙草が從來蒙疆等に行つて居つたものが〇圓であります。これも全部合作社が扱ふことになつたのであります。それから中國人が食つてゐる果物、梨子、林檎、葡萄、南瓜の實や西瓜の實。あのやうなものが約〇トンで〇圓。それから合作社で山西産業に配給した糸をタオルに織つたり、靴下に織つたりして居ります。さういふものも〇斤、〇萬圓にな

るのであります。兎に角〇圓ばかりの販賣物資を全部合作社がやつたのであります。その他農機具、その他の物資を全部合作社が扱ふことになりました。事實上山西の重工業を除く經濟の全部を合作社が握るといふことになりました。本年は極めて老大なものになつたのであります。

### 金融機構の整備を急げ

#### 地域別に觀た華北の横顔

矢野 「所が大事な金融方面は事業總會が今年小麥の收買に對して準備された金か僅かに〇圓であります。山西省は他の省の三分の一といふ低物價でありますが、それにして〇圓、事業總會で準備された資金を全部山西省に持つて來ましても、やつと小麥だけしか間に合はないといふ状態でありまして、事業總會に期待するものは極めて微々たるものであります。従つて山西銀行といふやうな特殊の銀行と結び、或は朝鮮銀行と結ぶといふやうなことで事業を運行する他ないといふ状態であります。今年の雜穀の收買は山東省の五、六パーセントが最低であります。山西省に於ては八十パーセント以上の集荷成績を收めてゐる。従つて相當戦死傷も出しまして、犠牲もかけてゐる。兎に角戦火の中に經濟建設をやつてゐるが、合作社運動は非常に大きなものであります。中國人も

參戰するのであるといふことを現實に行動の上に實踐して行くといふ上から言つて、末端に於ては相當困難はあります。兎に角山西省が色々の點に於きまして、河北の他省に較べて違つたやり方をやつてゐるといふことを言ふことが出来ると思ひます。

餘り山西省のことばかり申上げるやうであります。先月の一日に山西省振出しに大同、張家口等蒙疆一帯を見て、北京、天津、濟南、徐州、海州、連雲港にまで行きましたが、短い期間に蒙疆北支を隅から隅を歩いて見て感じましたことは、氣候風土の差異、それから物價の状況、物の流れてゐる状況、少いとか多いとか、その土地の状況、種々の意味に於て勉強させられたのであります。十二月に一旦歸りまして、今度は南の關係を研究するために勉強さして貰ひたいと思つてゐるのであります。北京の商工會議所で、生活費の百分比例は、太原二二二、張家口二五〇、北京、天津三三〇、濟南三五〇、徐州はなかつたが、少くとも三八〇乃至四〇〇といふ所ではないかと思ひます。殊に海州、連雲港に至つてはそれ以上であります。中支に接近するに従つてベラ棒に高くなつてゐる。同時に物は値の高い所に向つて多く集つてるといふやうなことがはつきり言へるのであります。それから氣候關係に於きましても、現在稍々東京の氣候より寒い位、蒙疆に入つては、オーバを着てゐる状態。それから天津、北京は山西省の太原よりも温い位であります。濟南は今でも十

一月)夏のシャツ一枚で結構凌げるといふ状態であります。徐州は丁度今の東京の氣候位であります。従つて氣候に應じて作物なども相當違つてゐるやうであります。角さんが先程水の話をされましたが、蘇淮地區に入るまでは全部井戸を掘つて灌漑をやつてるといふ状態でありましたが、蘇淮地區に入りますと、日本と同じやうに相當雨量がありまして、僅か一週間位の間に二三日雨が降りまして、植物は生々として居ります。その地區は一帶に井戸を掘らん。運河がすつと流れて居りまして、その水を利用するやうな状態であつた。特に考へましたことは、蘇淮地區といふのは、非常に難しい所でありまして、また鄉村形態が強く、縣知事の言ふことを聞かない。食糧が極めて豊富である。食糧は河北に對しても、小麥も〇トン供給してゐる。河北には蒙疆から〇萬トン、山西から〇萬トン、蘇淮地區から〇萬トン、これ等を供給してやつと食つてゐるといふやうな状態でありまして、山東鹽を従來華中鹽業が流して居つたのを、今度は南の方から、中華鹽業から入れることになつて、合作社はやらないといふことでありました。しかし蘇淮地區は難しいが、また今後面白い所と思ふのでありますが、今回私は山西省から其處へ行つて働くことになりましたが、何をやつてよいか分かりませんが、覺悟を決めて行つてやらなければ出来ない所だといふことを痛感致しました。兎に角中國人の顔を見ましても、山西あたりと違ひまして、精悍であり、人氣の悪いことは南によ

る程悪いといふことを聞いて居りまして、種々の意味で星井さんあたりにも御指導を得たいと思ひます。とりとめのないことを申し上げましたが、大體私の二年間體驗しましたことを申し上げ、最後に感じましたことを申し上げまして話を終りたいと思ひます。」

### 傳統を有する地域の強味

#### 社員組織の相違に就て

**清水** 「今日は農商省の井上さんが御出席でありまして、井上さんは御承知のやうに長く華北合作社に付て指導的地位に居られた方でありまして、御三方の御話なり、御質問を承ると同時に、井上さんからも座談の中でお話を承りたい。斯様に存じます。さういふことでこれから暫くお話を願ひたいと思ひます。」

**宮城** 「先程矢野君の話の中に、山西の方では省民は總て合作社員、斯ういふ指導方針が立てられたといふ。ちよつと書類を見ても、太原市に布告したものは太原市の行政組織や或は新民會の組織ですね。それと三位一體になつて合作社が擧げられてゐる。太原市民が即新民會員即合作社員、斯ういふやうな指導ですね。それから日本的な考へ方でお尋ねする譯であります。これは華北全

部がさういふ方針でありますか。それとも山西だけの考へなんでありませうか、或は合作社それ自身が將來はさういふ方向へ行きますか、日本で言へば當然加入といふ譯であります、そんな所はど  
ういふことになつて居りますか。」

角 「滿洲は農民であれば總て合作社員、斯ういふことになつて居りますが、華北では省に依つてそれが非常に違つてゐる。山西省ではさういふ方針を採つて居りまして、一番東の山東省に参りますと、内地式に、出資して初めて社員になる。斯ういふ恰好を取つて居りまして、河北省、河南省などはその中間を取つてゐるといふ風にお考へを願へばよいと思ひますが。」

宮城 「別に法律があつて喧しいとかといふやうなことはないのでありますね。合作社員の總數を抑へられて六百萬と言はれましたが、それを山西ならば全省民をその合計の中に入れて、さういふことになるのでありますか。」

角 「大體省別に山西省は百五十七萬戸農家がある。その中社員が百二萬戸。逆に東の山東省がどうなつてゐるかといふと、五百八十九萬戸ある中に社員は五十七萬戸、一割、斯ういふやうな状態になつて居ります。さういふ風に地道に行く所と、ぱつと上からの政治的の力で行く省と違ひがあるのであります。」

清水 「大體治安状況と正比例してゐるのでありますか。」

角 「大體は先程上げたやうに、三分の一といふ數字が出たといふことを申上げたのであります、それかと言つても山東省が治安が悪いといふことは言へない。全般的には大纏めに見て見ると言へるが、省別にはさうは言へない。大體に河北省、河南省、蘇淮邊になりますと、大體三分の一から三分の二位の程度を社員にして居りますからその邊の中間を取つて居つて、結局こちらに隨いてゐる人が入つてゐるといふ風に考へられるのであります。」

清水 「事變前に支那の留學生が來ました時に聞いた時に、山東、あそこには事變前に南京政府か何處かの政府で非常に獎勵されて、非常に合作社が發達してゐる。煙草とか綿とかといふやうな種類に依つてあつたやうであります、今はさういふものは潰滅してしまつてゐるのでありますか。」

角 「事變前に山東省の特殊農産物の出來る膠濟沿線と、京漢線沿線に棉花が出來るのであります、この沿線に事變前に合作社があつたのであります、實はこの前石門といふ棉の一番中心地なんでありませう、此處に行きました時の話に依ると、其處は縣合作社聯合會を作つてゐる。最近になつて食糧が不足であるから自分の所で保管したいといふことで大規模の倉庫を造りたいといふ

ことで、自分等で資金を出してやりたいふことを熱烈に要求して來た。何も知らないものがさういふ風になつて來たのかと種々調べて見たら、事變前に合作社運動が非常に盛んであつたといふ、さういふ合作社に付ての認識があつたのが食糧不足のために、さういふことになつて來たといふことを聞かされたのでありますが、現在我々のやつてるのは事變前とは頓著なくやつてゐるのであります。」

清水 「二應打切られてはゐるが、合作社の運動とか、思想とかに付てさういふ傳統がある所はやり易いといふ譯でありますね。」

芳村 「山西省ではうまく行つたやうですが、今度の所も他の省よりはよいのでありますか。」

矢野 「兎に角山西省の人間は大體漢民族發祥の地で、非常に尊大ぶつた所はある、詰り黄河の沿線から漢民族が北の方に伸びて行つたのであるから堯、秦時代の水利の跡や、さういふものの遺跡があるのですが、漢字發祥の地、五大山、あのやうなものを一應の誇りにして文化人を氣取つてゐるのでありますが、實際文字の讀めるものは二十八パーセント、種々宣傳工作をやつても効果はない。讀みはしない。所が質朴であるといふ點は他省に較べると言へると思ひますが、大體山

西人は支那の高利貸の本来本元なんです。それから河北省の人間は非常に名譽慾が強い。支那人を動かすには、地位を與へて動かせるのは河北の人間であります。山西の人間は實を與へて動かすといふことを考へなければ駄目でありますね。それから東に面した方は色々接近して考へて見たのでありますが、これはみんな歐米人と接觸したりしたから非常に人氣が悪くなつてゐる。都會週邊の人間が純朴でないといふことと同じやうに、さういふ傾向がある。謀略などといふのは最も支那人の得意とする所で、さういふ點では蘇淮あたりの人間は非常に見て來たのであります。」

### 青少年運動と合作社

#### 積極的に進めたい厚生事業

芳村 「星井さんがお話になりましたやうな青少年運動などといふやうなものは北支にはまだ行はれて居りませんか。」

矢野 「新民會でやつて居ります。合作社自體としてはやつて居りません。」

芳村 「それと合作社との關係は。」

矢野 「私の方は三位一體でやるのでありますから、新民會が糧秣の蒐集でも、金融でもやつて

あるのでありますから、關聯してやるのでありますから、それからどなたからか質問がありました  
華北の合作社といふものは民國二十三年に合作社法が出て法律といふものがあるのでありますが、  
併しながらその法律に基いてなつたのぢやなくして、日本側の合作社指導運營業領に基いてやつて  
ゐる。現在はさうなつてゐます。」

**宮城** 「昔の中國の合作社に關する法律は生きてゐない譯です。」

**矢野** 「あつてなきが如きものです、その法律といふものは全くおかし。日本の産業組合法に  
は監事は理事になることは出来ないといふやうな事になつてゐるが、あすこのは監事が理事にな  
つたり、利益金はお互に分けてよいといふやうな出鱈目な法律なのであります。」

**依田** 「右に青少年運動、左に合作社運動といふやうなことであつたが、合作社運動の中に青少  
年運動を積極的に取入れることは出来ませんか。」

**星井** 「それはやつて居りますが。従つて我々は從來の合作社法などは無視してやつて來たが、  
今後合作社法改正は適當の時にやらなければならん、華北その他の地域に於てもどうなつてゐるか  
といふことを見て、全體的な合作社法の改正とかをやらなければならんと思ひますが。」

**清水** 「中支の方で今までやつて居つたのは。」

**星井** 「中國合作社設立要綱といふ、昭和十四年の十月に決つたものです。」

**一樂** 「合作社の事業資金でなくして、合作社自體が個人に貸すこともやつてゐるのであります  
か。」

**星井** 「やつて居ります。」

**依田** 「北支はやりませぬね。」

**星井** 「中支は詰り各縣の合作社に貸して、それを斡旋したり監督したりして居ります。」

**依田** 「現金で金融するといふよりも生活必需品などを積極的に出すといふことが主になるので  
ありませうね。」

**星井** 「生活必需品を買つてから民衆に配給してやるといふことで手一杯なんです。金融が出来  
なければ農業増産も出来ない、物資の増産も出来ない。それで金融問題が先行しなければならん  
と思ふ。さうすれば生産も興つて來る。嘉興商業は一割五歩以内ですが、他のものはどうしても二割  
三割といふ風に高いのであります。二割と言つたら安い方でありませぬ。」

**宮城** 「華北では井戸掘の資金に使はれたといふが、一つの井戸に付てどの位かゝりますか。」

**角** 「あの當時は五百圓かゝつたと言つて居つたが、五十圓補助金をやつて二百圓融資といふこ

とになる。」

五二

宮城 「あと二百五十圓足らん譯ですね。」

角 「それは勞力で。」

宮城 「勞賃にかゝる譯ですね。」

一樂 「日本の厚生事業のやうなものはありませんか。これは手取早く、簡単な奴でよいから、それを現地で養成して各合作社に齒醫者まがいのものを配置して、さうして家庭薬のやうなものを事業總會で製造して持たしてやるといふやうに……。」

角 「家庭薬、あれに付て聞いて見ると餘裕がないやうでありますね。今度家庭薬を造る會社が出来るさうですが、その會社で種々現地で造るといふ風のことを考へて見やうかといふことで餘程向ふも研究するといふことに付ては乘氣になつてゐるのであります。實は來年は第二豫算に要求してゐるのであります。中國人の醫者に看護婦を二人位付けて、巡回診療をやつてみやうといふことで計畫してゐるのであります。若し家庭薬が手に入れば家庭薬の使ひ方を世話する位のお醫者さんでよいと思ひます。それ以上脈を診たりするやうなことも要らない。併し現地でも三つの縣でやる位の薬は手に入るやうでありますから……。」

宮城 「對支文化事業で病院とか、何とかを作りましたね。あれは同仁會ですか。あんな都會の大きなものよりも、村に入つて行くといふやうな、厚生施設の方がよいですね。」

### 郷村合作社網の擴充へ

#### 行政補助機關色の拂拭

川尻 「郷村合作社の機構といふのはどういふ機構に依つて運営されて居りますか。」

矢野 「それは朝鮮の殖産契や日本の農事實行組合みたいのものであります。」

川尻 「役職員は。」

矢野 「村長位のものであります。」

川尻 「その區域は。」

矢野 「保甲制度といふのがありまして、それでやるのであります。」

星井 「分社といふのは今は出張所みたいになつて居りますが、これを獨立させるのには相當の人間を持つて行かなければならんが、それまでは分社といふ形式でやつて居り、分社は獨立さしてゐない譯であります。併し自治的に分社の役員を選擧してゐる所もあり、また出張所の任命だけで

五三

行つてゐる所もあります。」

五四

**京野** 「清郷工作といふのもと、合作社運動の結び付といふものがはつきりしないのであります。が。」

**星井** 「清郷工作といふものをやつた当初は餘り協力しなかつたのであります。所が總てのものはうまく行つたが、統制經濟が出来なかつた。そこで合作社を動員しやうとして、實際に於て蘇州の合作社に於て、地域内の三分の一の社員を持たうとして始つた當時に於て非常に確なる效果を得た。他ではマツチを十五錢で賣る。それを五錢で賣るといふことにした。全部合作社に總て品物を任してやるといふことで。」

**川尻** 「滿洲では合作社の機構は段々末端まで掘下げて行つて、今中央會があり、省聯合會があり、縣合作社があり、その下に興農會があるのであります。現在は省聯合會を廢して中央會の支部にして、中央會から縣合作社に結付いてゐるのであります。更に縣合作社をもう一段掘下げて縣合作社聯合會にする。さうして街村合作社にする。街村合作社の組織分子は興農會に依つて構成されてゐる。その機構を農民まで確實に浸透させて行くといふ方策を採つてゐるのであります。その興農會の機構も、從來は行政的に作るといふことであつたが、それではなくして、自然發生的に

興農會に行くといふ風に進んでゐるのであります。北支に於ける鄉村合作社といふものは潰してしまつて、縣聯合會にして、鄉村合作社を實行組合的のものにするといふお話があつたのであります。これは北支に於ける色々の條件に依つてさうなつたと思ひますが、これは行き方としてはどうなんですか。」

**角** 「鄉村合作社が要らないといふのは山西省獨特の方針で、他の省は鄉村合作社を作つて行かなければならぬ。鄉村合作社が段々活動し始めて居ります。山西省は結局合作社が行政機關化したものであるからやる仕事といふものが行政的の仕事を擔當してゐる。行政的の仕事と言へば何かといふと、收買なんですね。收買が主體のものであるから、これは鄉村合作社を別に、使はなくても強制的の買出しであるから出来るといふことで、この機關が備つて居れば一應目的は達せられる譯であります。さうでなくして、金融をやつたらどうか、農業生産指導をやつたらどうかといふやうな仕事を主體に採入れるといふことになれば、これは末端組織までいかにしては不可能である。それで鄉村合作社が擴充されて、基礎が出来て初めて農業生産指導といふものも百姓に結付け、さうして資金の貸出も出来るといふことになつて來ると思ひます。山西省の合作社の現在の行き方も一つの行き方であり、他の方で獨立的な合作社を作るといふのも一つの方針であらう。兩方とも最

五五



も時代に適した方法であるといふやうに考へて居ります。併し金融を大いにやつて、農民の福利増進を圖らうとか、或は生産指導といふものを農民に徹底させやうとすれば、満洲でも従來の縣合作社では不十分ではないか満洲は合作社は行政機關として使つて居つたのでよかつたらうが、今後は行政機關から一步脱却して進んで行かなくちやいかんと思ひますが。」

矢野 「ちよつと誤解があると思ひますが、郷村合作社が要らんといふのぢやないです。益々下部機構を充實して、政策を浸透せしめなければいかんといふことなんです。郷村合作社といふ言葉から來る考へ方がどうも自由主義的だといふ譯であります。郷村合作社といふものは新なる組織があるといふ譯でなくして、縣合作社が運営要領に依つてやつてるやうに、縣合作社が經營主體になり、郷村合作社がその下の經營主體になるといふのぢやなくして、縣は縣合作社であつて、郷村は分社としてその下の單位になつてゐるといふ譯であります。」

清水 「大變話が佳境に入つた所で恐縮であります。これで打切りまして次の機會に更に伺ひたいと存じます。長い間まことに有難うございました。」(了)

註 座談會出席者は左の諸氏である。(順不同、略敬稱)

農商省食糧研究所技師	井上晴丸	全國農業經濟會資材部次長	宮下英一郎
同 總務局團體課事務官	平木桂	東京農業大學教授	京野正樹
行政院合作事業委員會委員	星井輝一	朝鮮金融組合聯合會參事	芳村圭助
華北合作事業總會局付	角玄	同	山城幾三
同 山西省合作社聯合會	矢野靖純	興農合作社中央會參事	川尻健二
中央農業會組織部長	宮城孝治	東亞協同組合協會書記長	清水宗兵衛
同 組織部總務課長	青木一巳	同	主事 依田靜衛
農林中央金庫參事	一樂照雄		以上

華北合作社統計 (其ノ一)

(民國三十一年十二月現在)

省別	縣聯數	合作社數	社員總數	出資口數	出資總額	已繳額 (已拂込金)	未繳額 (未拂込金)
河北省	一三七	一一,九〇三	一,二七六,五二一	一,五四六,三三〇	三,一八五,九九七	二,六四五,八四九	六六,八七七
山西省	空	一,八五六	四五六,四六三	五〇四,二六一	一,三五〇,九七三	一,〇〇七,六六九	三二,九七九
山東省	二〇	三五四	一七三,八二九	二二二,一〇〇	四六四,八三三	三〇一,七四五	一六三,〇八七
河南省	二〇	一,六七九	一六,六六六	一九七,二九四	四四一,九七九	三三三,一八一	一〇八,八六八
蘇淮地區	七	一三五	七,七五四	一三三,四五四	二六四,九〇八	一三四,五三六	一三〇,三七二
青島地區	一	一	二八,八九九	二六,〇八〇	三三,一六〇	一	一
合計	三三九	一五,九三九	二,三三三,七三三	二,七七八,三三九	五,九四〇,八二九	四,四〇四,九八〇	一,五三六,八四九

華北合作事業總會概況 (其ノ二)

(民國三十一年末現在)

項目	數	金額
會員數	二	二二七,一二七圓
特別會費	六	八,一一九,八八二圓
省聯合會	二五七	七,〇八五,八三二圓
縣聯合會	二六五	
計		
出資金	五,〇〇〇,〇〇〇圓	
下附基本金	二〇〇,〇〇〇圓	
借入金及預り金	三四,一一四,七七七圓	
特別貸付金	一八,三一五,〇〇〇圓	
普通貸付金	一八,二〇四,二五〇圓	
總益金	三,一八八,七一二圓	
總損金	三,一八八,七一二圓	

中支合作社統計 (其ノ一)

地區別	種目	合作社地區別概況 (註)			
		支社數	分社數	助社數	社員數
上海	三	三五	八〇,七四五	一,三八一,五五八	(一七,五三三)
南京	四	六六	一四〇,八五六	四,七〇〇,七七	(一,七三三,九八)
蘇州	一七	二六五	四九,七三四	一,〇九七,三〇〇	(二四九,九九)
杭州	九	六八	一八,三三九	五,五六〇,〇四一	(三七八,四三九)
安慶	四	一九	三,七四九	四,九七二,八五六	(一八,九〇〇,八八六)
蚌埠	一〇	八五	一〇,〇九〇	四,六八五,二二八	(九,九六八,四四六)
泰縣	七	二一	七,五〇〇	四,〇七二,七二五	(一七,九〇〇,〇五二)
蕪波	六	三七	四,三三八	一,四五五,七四〇	(五,五二九,七三〇)
合計	六八	六八八	一,一四一,八〇五	四〇,〇九三,三三〇	五,〇〇八,六三三

1 昭和十八年六月民國三十一年六月現在  
2 未報告合作社分ハ記入セズ  
3 金額欄 右軍票、左法幣

民國三十一年度對三十二年六月末比較表 (其ノ二)

1. 支社、分社、社員

地區別	種目	支社數		分社數		社員數	
		前年末	本半年末	前年末	本半年末	前年末	本半年末
上海	八	一一	一二	一五	三五	四一,二五一	八〇,七四五
南京	一四	一四	四	一六二	六八	二四六,〇三二	一四〇,八五六
蘇州	一一	一七	一七	二一八	二六五	三〇一,九九六	四九九,七二四
杭州	一〇	九	九	五八	六八	九一,二七八	一一八,二二九
蚌埠	七	一〇	一〇	四二	八五	八七,九一四	一八〇,〇九〇
安慶	三	四	四	一七	一九	一三,〇六四	三七,四四九
泰縣	七	七	七	三九	四一	六三,四七七	七三,五六〇
蕪波	七	六	六	五一	三七	四一,八六二	四二,三四八
合計	六七	七〇	六〇二	六一八	八九一,八七三	一,一七二,八〇五	

註 一、未報告合作社分ハ記入セズ依而本年度ハ左數以上ナリ  
二、支社數ニ於ケル南京、蘇州分ハ一部區域(本年度ニテ)アリタリ

2. 販賣額、配給額、貸出額

種目	販賣額		配給額		貸出額	
	前年度末	本半年末上	前年	本年	前年	本年
上海	三、六六、二八八	一、七二七、〇六八	(一、九〇四、一六二)	(八、一九、三三四)	五、〇〇〇	一、七八、〇〇八
南京	(一、二七九、七二七)	一、〇九七、三〇〇	(七、五九、二二二)	(二、四九、九八一)	(三、七四八)	一、七四三、六〇〇
蘇州	(九五、三九八)	五、五六〇、〇四一	(三、二七、三三七)	(三、八三九、四四三)	(四、〇一七)	一、四三三、六〇〇
杭州	(二〇八、八八九)	四、一七四、一七八	(三、五五〇、〇四八)	(一、八九〇、〇八六)	(四、〇一七)	二、四九三、八〇三
蚌埠	(二二、八六六)	五、〇五五、二七六	(一、四六九、〇〇六)	(五、一八、九九五)	(一、〇〇〇)	一、五、四二五
安慶	(六五、五〇〇)	三、〇五五、二七六	(八、六九、二二二)	(八、一五、四六四)	四、〇〇〇	三、四七、一八七
泰縣	(九五、六九二)	七、七、四三	(一、九五、〇六一)	(五、一五九、〇八八)		
壽波	(二、九六、二八〇)	七、七、四三	(一、四七三、六二五)	(五、五二九、七三〇)	(三、六)	一、九〇、一五
合計	(一、六八、二二二)	(一、〇九七、三〇〇)	(一、六、三、七三)	(二、六、八、二五)	(一、八、〇一)	(五、〇、〇一)

(註) 一、本年度分ハ未報告合作社分記入セザルニヨリ右額以上ナルベシ  
 二、金額欄 右軍票、左法幣

昭和十九年六月十日印刷  
 昭和十九年六月十五日發行

非賣品

會談座題問社作合國中

東京都芝區濱松町一ノ一  
 東亞協同組合協會  
 編輯者 清水宗兵衛  
 印刷者(東東二五)杉田弥太郎  
 印刷所 東京都麴町區麴町五丁目二番地  
 株式會社杉田屋印刷所

發行所

東亞協同組合協會

東京都芝區濱松町一ノ一中央農業會濱松町別館





923  
159

終

